

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2025年 5月 20日

事業者情報	
事業者名	株式会社リコー
代表者 職・氏名	職名 代表取締役 社長執行役員・CEO
	氏名 大山 晃
ホームページ URL (任意)	https://jp.ricoh.com/
事業者ロゴ (任意)	
事業者としての2030年のあるべき姿	
<p>リコーグループは、目指すべき持続可能な社会の姿を、経済(Prosperity)・社会(People)・地球環境(Planet)の3つのPのバランスが保たれている社会「Three Ps Balance」として表しています。この目指すべき社会の実現に向け、経営理念・中期経営戦略・ステークホルダーからの期待を反映したマテリアリティを、中期経営戦略の策定に合わせ見直し、特定しています。</p> <p>※2026年4月、新たな中期経営戦略にそって2030年までに実現するKGIを設定し、マテリアリティを見直しました</p> <p>Three Ps Balance への貢献に向けて2030年までに3つの領域で実現すること</p> <p><Prosperity 持続可能な経済> お客様の“はたらく”への価値提供の拡大：価値提供の拡大率 2025年比 37%増</p> <p><People 持続可能な社会> 社員への成長機会の提供：成長を実感している社員比率 80%</p> <p><Planet 持続可能な地球環境> 環境効率の高い経営の実践：環境効率改善度 2015年比 2倍</p> <p>マテリアリティと紐づくESG目標についてはWEBを参照ください。</p>	

大田区とは SDGs に関する連携協定を締結しており、多様な分野において、お互いの資源やノウハウなどを連携させた取り組みを加速させ、大田区の持続可能な社会の実現を強力に推進していきます。

これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可）
（これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）

					
				○	
					
○	○	○	○	○	○
					
○			○	○	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等

分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)		SDGs ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	✓	<p>“はたらく”の変革 生産性向上、創造性発揮やデジタル格差の解消など、“はたらく”に関する社会課題の解決に貢献する製品・サービスの提供により、事業成長を実現する</p> <p>安心安全なデジタル社会の実現 情報セキュリティの確保や技術・AI 倫理の取り組みを通じて、デジタル化する社会でのビジネスリスクを低減し、信頼性の高い価値提供をおこなう</p> <p>公正な企業活動 企業倫理・コンプライアンスを徹底し、バリューチェーンでの人権尊重を徹底することで、ESG リスクの最小化を図り、ステークホルダーの信頼を獲得する</p>
	社会	□	
	環境	□	
②	経済	□	<p>【メイン】</p> <p>多様な人材の活躍</p>

	社会	✓	5,8,10,11,17 【サブ】	多様な人材が能力を發揮し、社員が成長を実感できる 職場環境や企業文化を育むことで、事業成長を支える 人材を育成する コミュニティとの共生 地域社会に配慮して事業を営み、社員一人ひとりが地 域社会に貢献することで、地域社会との信頼関係を強 化する
	環境	□		
③	経済	□	【メイン】 7,12,13 【サブ】	脱炭素・循環型社会の実現 バリューチェーン全体の脱炭素化と資源循環に取り 組み、カーボンニュートラルへの貢献を通じたビジネ ス機会の創出と、サーキュラーエコノミー型ビジネス モデル構築を実現する
	社会	□		
	環境	✓		

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	人権リスク管理の重要性を考慮し、人権影響評価を実施し、顕著な人権課題の特定と対応を推進。顕著な人権課題の一つである「サプライチェーン上の人権問題」への対応として、重要サプライヤーを対象に、リユースグループ サプライヤー・パートナー行動規範への署名を依頼。2025年度は100%の署名率。		
②	機会の公平性の考え方の浸透に向け、経営トップからのメッセージ発信や国際女性デーに合わせたグローバルイベント等を実施。女性管理職比率の2025年度実績は、国内9.4%（前年比1.0ポイント）。		
③	徹底的な省エネ・燃料転換の推進、再生可能エネルギーの積極的な利活用。2025		

<p>年度は福島市の営農型太陽光発電所と契約し、本社事業所の一部電力に利用。</p> <p>※GHG 削減率、再エネ比率、製品の 新規資源使用率の 2025 年度実績は 集計後、WEBにて公開予定</p>		
--	--	--